

新評論

2024
10・11
No.344

発行所 © 新評論 2024年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrm@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税込



支援NPO「友愛会」代表の
吐師秀典さん。山谷で精神
科の訪問看護活動を行って
いる

訪問看護師として働きながらこの街の「生と死」を見つめ
つづけてきた著者による同時代の記録。写真約120点収録

山谷をめぐる旅

織田 忍

◆ジャンル:ノンフィクション

大阪釜ヶ崎、横浜寿町と並び、「日本三大寄せ場」の一つであった「山谷」。この地名は、東京都台東区清川・日本堤・橋場と荒川区南千住にまたがるエリアを指す通称としていまも使われているが、「山谷」という町名は現代の地図には見当たらない。一九六二年に施行された住居表示法によって、江戸期以来の住所表記が変更されることとなり、先の東京オリピック直前の一九六六年に行政地名としての「山谷」は消えた。

かつて山谷には、全国から仕事を求める日雇い労働者が集まり、ドヤ（簡易宿所）街が形成されていた。建設業を中心に、日本経済を支えてきたわけである。同時に、世間からの差別や偏見にさらされたこの街では、労働者の暴動が頻発した。言い換えるなら、圧倒的なフラストレーションの発散場でもあった。しかし、そんな熱い時代は終焉を迎え、いまやはっきりと過去のものになりつつある。ドヤは一気にマンションへと建て替え

られ、ここ数年で街の風景が一変した。浄化され、「労働の街」から「福祉の街」に変わり、かつての活気は失われている。しかし、山谷という磁場は、現在も力尽きた者たちを引き寄せる。江戸の近郊エリアとして隆盛と衰退を繰り返しながらも、長きにわたりセーフティネットとしての機能を担ってきた土地の底力が、いまも息づいているからなのだろう。

本書では、街の歴史を辿りつつ、「山谷」という土地の宿命とそこに生きる人びとの闘いや思いを見つめていく。取材対象は、この街を舞台とするドキュメンタリー映画の関係者たち、「男たちの街」で呻吟した女性写真家、ケアや看取りを担う人びと、仕事おこしに努める企業組合、地元の寺のご住職などである。本書はまた、生きづらさや孤独感でつながるこの街で、訪問看護師として働く著者自身の「実録・山谷」でもある。（おだ・しのぶ）

ISBN978-4-7948-1276-6

11月初旬刊

四六並製 二七二頁 予二六四〇円

著者 1975年千葉県生まれ。短大卒業後、出版社などの勤務を経てフリー。2011年、看護専門学校に入学。現在、「訪問看護ステーション コスモス」の訪問看護師として、山谷エリアを中心に地域医療に従事。著書に「山谷への回廊 写真家・南條直子の記憶 1979-1988」(2012年)など。



カードを使った質問づくりの実践例（ハテナソン共創ラボによるワークショップ）

「問い」をつくる楽しさと可能性は無限大！教室、研究、仕事、日常生活に役立つ質問づくり・課題解決の最新・独自メソッド

ハテナソンの本

「問いづくり」への旅

佐藤賢一

◆ジャンル：教育

本書は、「問い」をつくる楽しさと可能性を探究する冒険の書です。「ハテナソン」とは、「はてな(?)」と「マラソン」を組み合わせた私たちの造語で、じっくり時間をかけて質問づくりをする学びの場を象徴しています。私自身が高校生時代に出会った「問い」を出発点に、人が対話を通じて成長し続けるプロセスを物語仕立てに綴りました。通読すれば、現代社会における「問い」の重要性を再認識していただけるものと思います。

質問づくりは、その問いへの答えを見なければ終わりというものではありません。大切なのは、その過程を通じて思考力や創造力を引き出し、発展させ、成長につなげることです。本書では、「たった一つを変えるだけ」の著者（ダン・ロースタイン氏とルース・サンタナ氏）が開発したメソッドを含め、問いづくりの基本やその応用法をわかりやすく説明します。さらに、「問いの窓」「問い重ね」「問い磨き」など、私が代表理事を務めるNPO法人「ハテナソン共創ラボ」が開発した独自の手法も紹介しています。こ

れらのメソッドは、シンプルでありながら深みのある問いづくりを、誰でも簡単に実践できるように設計されています。それらに基づいて読者自身が問題を発見し、解決策を導き出していくプロセスを紙上体験できるように構成を心がけました。

本書は一六歳（高校一年生）を第一読者層として想定していますが、もちろん探究学習やプロジェクトベース学習に携わる教育関係者、研究者、大学生・大学院生にも有用なツールです。課題解決に悩むビジネスパーソン、年齢を問わず成長を求めすべての人にもおすすめて。問いを楽しむ姿勢を養えば、きっと違う景色が見えてきます。ぜひ一読いただき、仕事や日常生活にお役立てください。

（さとう・けんいち）

ISBN978-4-7918-1277-3

11月刊

四六並製 二二六頁 予二四二〇円

刊 たった一つを変えるだけ

評（クラスも教師も自立する「質問づくり」）

好 D・ロースタイン+R・サンタナ／

吉田新一郎訳

二六四〇円

著者 1965年北海道岩見沢市生まれ。高校在学中に細胞の世界に魅了される。現在、京都産業大学教授。生命科学を専門とし、研究と教育に従事。「クエスチョンデザイナー」として、日本各地でワークショップや講演活動を展開中。



坪内逍遙「当世書生気質」から灰谷健次郎「砂場の少年」まで、近代小説の中で「学校」はどのように描かれてきたか？

近代の名作の中で「学校」はどのように描かれてきたか。鋭敏な作家の眼が捉えた「真実」の光が現代の社会・教育・文学を照らし出す

「学校小説」の残光と残影

珠玉の34編(明治・大正・昭和)

藤尾 均

◆ジャンル:教育・教育史/日本近代文学

児童・生徒・学生・教員として、人生の大半を「学校」現場で過ごしてきた私は、折に触れて、学校を舞台とする小説(いわゆる「学校小説」)を読み、しばしばそれらに救われてきた。その読書歴は、悩める現役の教員・学生・生徒、そして保護者の方々の参考となるのではないかな。そんな考えのもとに私は本書を編んだ。まず第一部で、それらの「学校小説」のうち、明治・大正・昭和の時代に書かれたものなるべく網羅的に概観した。その数は一一〇余編に及び、我ながら、いろいろな作品に出遭ってきたと感心している。むろん、平成や令和の時代にも「学校小説」は陸続と刊行されているが、作品や作家の評価がまだ定まっていないものも少なくないので、ひとまずは、明治・大正・昭和という「近代」にこだわってみた。

続く第二部では、その一一〇余編のなかから、現役の教員・学生・生徒、さらには保護者の方々に、その存在を知って、できれば読んでみていただきたいと思えたものを、三四編にわたって厳選し、私がかくかく印象的だと思ったシーンを中心に引用し、各作品から私を感じ取ったことなどをエッセイ風にまとめ、ささやかに

な読書案内としてみた。そこには、「古稀」を過ぎた私の、半ば「遺言」のような想いも込められている。各節のタイトルは当該小説の引用文から抜粋して付けた。むろん、小説は基本的にはフィクションである。しかし、鋭敏な作家の眼は、「事実」を超えた「真実」を照射していることも少なくない。第二部で取り上げた作品の作者を例示すると、鳥崎藤村、夏目漱石、石川啄木、芥川龍之介、谷崎潤一郎、太宰治、石坂洋次郎、三島由紀夫、北杜夫などである。

また、私がエッセイのキーワードとして設定したのは、「教科書」「学歴」「ゼンダーロール」「入学試験」「教師の」資質」「学級経営」「特別支援学級」「作文教育」「いじめ」「英語コンプレックス」「性道徳」「教職員組合」「スポーツにおける」連帯責任」「内申書」「自殺」「授業崩壊」などである。

(ふじお・ひとし)

ISBN978-4-7918-1278-0 11月刊

四六並製 三六〇頁 予二七五〇円

刊 歌が誘う北海道の旅

評 (珠玉の78曲)

好 藤尾均

三〇八〇円

著者 1954年東京生まれ。東京大学文学部卒業。旭川医科大学教授(人文系教養教育担当)を経て現在は名誉教授。趣味の領域の著書に「歌が誘う北海道の旅」(新評論、2023年)があるほか、日本近代小説や日本映画の魅力を独自の視点で伝えるエッセイを精力的に執筆中。

〔改訂2版〕 生のための学校

清水 満編著

「アンマークで生まれたフリースクール」ブ
オルケホイスコレの世界」一八〇年
以上にわたって続く「生きた言葉」の授業。
四六並製 四〇〇頁 三三〇〇円



日本のアタリマエを 変える学校たち

有澤和歌子

「誰もがインターナショナルスクー
ルで学べるように」 自分子ども
だけが幸せになれる世界はない。
四六並製 一三三六頁 二二〇〇円



「困った生徒」の物語

磯村元信編

「リアルな教育現場をのぞく」 崖
つぶちの子どもたちを支えるため
のヒント満載の教育ドキュメント。
四六並製 二六四頁 二二〇〇円



教師の社会性

池島彰之

「世間知らず」と言われないために
教師が身につけるべき社会性とは何かを
整理・確認し、「ベターな話し方」を提示。
四六並製 一九四頁 二二〇〇円



子どもとともにする 「教育ドキュメンテーション」

白石淑江・山中健司編著

「探究を深める保育実践」 「あかつ
き保育園」の保育者と「小さい人(子
ども)」との目をみはる保育革命。
A5並製 一七二頁 二二〇〇円



トピック学習で 話し合う力を育てる

廣口知世・山元悦子

「子どもたちとつくり上げた6年間の軌
跡」 小学校国語科において悩みの種で
ある「話し合い」学習の改善法を指南。
四六並製 二四〇頁 二四二〇円



ヴィンデビー・パズル

ロイス・ローリー／島津やよい訳

「ギヴァー」で名高いベストセラ
ー作家が、古代ゲルマン世界を舞
台に描く異色の歴史ミステリー。
四六並製 二四〇頁 二四二〇円



「ありがとう」の力

松本有貴編著

「学校に笑顔をとどけるウェルビーイン
グ日記」 独自開発の日記で児童・学生
の「よき生」の実現を支える教育実践。
四六並製 二四四頁 二四二〇円



殺戮の世紀1914-2014

E・エシュト十P・セルヴァン監修／
義江真木子訳〔世界を変えた20の戦争〕 戦争の
継起と増殖を促した諸要因を再検
証し、現代の危機を捉え直す。

A5上製 四二〇頁 四九五〇円

月刊「グローバル経営」紹介
ISBN978-4-7948-1255-1

私たちはどこにいるのか

ブルーノ・ラトゥール／川村久美子訳

〔惑星地球のロックダウンを知るた
めのレッスン〕 人類再生の方途をゴ
ナ禍の教訓から導出。畢世の渾身作。
四六上製 一三三三頁 二四二〇円

虐待被害者という勿れ

ドクターファンタスティック★嶋守さやか
写真・田中ハル〔虐待サバイバーという生き方〕
「児童虐待」の暴力に晒されてい
るすべての人における証言集。

四六並製 一三三六頁 二二〇〇円

〔東京新聞〕他紹介
ISBN978-4-7948-1248-3

自殺者を減らす！

波名城翔

〔ゲートキーパーとしての生き方〕
「命の門番」となる心構えが今万人に
求められている！各地の活動家の魂の声。
四六並製 二四四頁 二四二〇円〔ダイヤモンドオンライン〕紹介
ISBN978-4-7948-1256-8

富豪に仕える

アリゼ・デルヒエール／ダコスタ吉村花子訳

〔華やかな消費世界を支える陰の労働
者たち〕 使用人と主人、両者複雑で矛
盾に満ちた関係を明かす社会学の冒険。

四六並製 二六四頁 二四二〇円

〔日刊ゲンダイDIGITAL〕書評
ISBN978-4-7948-1250-6

執筆開始、その前に

大倉幸宏

〔「悪文」を避けるための考え方〕
単なる書き方指南を超えて、物事の見
方や心構えから問い直す悪文回避法。
四六並製 三四四頁 二六四〇円好評刊
ISBN978-4-7948-1249-0

わが家のさよなら

E・ケルシー(文)／S・キム(絵)／
光橋翠訳「ありがとう、だいすき」って伝え
て、ちゃんとお別れするために……エ
ロジー絵本シリーズ感動の完結作。

B5変上製 三三三頁 一七六〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1272-8ちせんげんじ
知泉源氏 6

杉村喜光

〔完訳漫画「源氏物語」〕「明石」続編、
「関屋」の本巻で、道長もかくやの情熱
と葛藤を描く(青春編) 堂々完結！
A5並製 三五六頁 一四八五円好評刊
ISBN978-4-7948-1265-0

梅木卓也・有澤和歌子『答えのない教室——3人で「考える」算数・数学の授業』

多様な解き方 試す手法とは

■評者 浅田和伸（長崎県立大学学長）

『日本教育新聞』2024年9月23日

「答えのない教室」(Thinking Classrooms) 考える教室) は、カナダの元高校教師、リリヤ・ドール教授が提唱する教育手



「3人ひと組で考える」ことで、ワクワクが広がる！ かつて有明高校での授業風景

法である。その狙いは、より多くの生徒が、より自然な形で長い間考えるようにすることにある。

教授の問題意識の背景には、幼稚園から高校まで多数のクラスを調査した結果、「2割の生徒が2割の時間しか考えていない」と分かったことがある。皆さんのクラス、授業はどうか。生徒はどれくらい考えているだろうか。

具体的な姿としては、事前に解き方が分かっているような問題ではなく、さまざまな解法を試したり話し合ったり

できる問題を提示し、3人ずつのグループで話し合いながら学びを深めていく。「まとめ」の後には、グループ内でできたことが一人でできるかを確かめる「自分チェック」も行う。もちろん授業前の準備や生徒の理解度の把握も重要だ。

本書の優れた点の一つは、この手法を完全なものとして宣伝するのではなく、実践者のインタビューも含め、課題や難しさ、試行錯誤の例なども表出している誠実さにある。

授業を生きた学びの時間に

したいと思わない教員はいないだろう。「答えのない教室」は真つすぐにそれを目指す一つの挑戦である。

授業時間（梅木氏の高校の1時限は80分）などの違いもあるが、「考える授業」を目指す上で参考になる点は非常に多いと感じる。

答えのない教室

梅木卓也・有澤和歌子

「3人で「考える」算数・数学の授業」

教師の真似をするわけでもなく、丸暗記でもない。全く新しい授業が始まる。四六並製 一五六頁 二四二〇円

【毎日新聞】他紹介

ISBN978-4-7948-1257-5



本を売る

古典という大人の贅沢

大河ドラマのおかげで「源氏物語」に関連する新刊が多く出ています。昔と比べて本の寿命というものが随分と短くなっていて、話題のベストセラーも数年後には出版社品切・重版未定になってしまふことも珍しくありません。数百年以上も読み継がれる古典と近現代の商業出版では、背景となる状況が異なるので単純には比較できませんが、それでも古典の力強さはより一層際立ってきていると感じます。

学校の授業で「読まされた」という苦い思い出のあるひとも少なくないでしょう。社会人となり試験勉強から解放されたれ、自由の身で読み直す古典……「枕草子」「徒然草」や「論語」など教科書でもお馴染みのタイトルは、文庫本で手軽に現代語訳を読むことができまふ。価値観や社会通念の相違から理解できない部分もありますが、平安時代の女性作家のエッセイや中国古代の思想家の言行録のなかに、令和の日本人が思わず頷いて

しまふ記述が多いことに驚きます。数百年以上、読み継がれる理由がわかる。古典の読み直しと言つても、さあ勉強だと肩ひじ張らなくとも大丈夫。読み物としても十分に楽しいです。

『論語』に「知之者不如好之者、好之者不如楽之者」という一節があります。知識として知っている者は、好きでやっている者にはかなわない。好きでやっている者も、楽しんでやっている者にはかなわない。そんな意味です。勉強から脱して好む者、楽しむ者になつたらこちらのもの。こうして身に着けた古典こそが「○○のための教養」とは違う、真の意味での教養なのではないでしょうか。

きっかけは大河ドラマでもテレビゲームでもなんでもよいのです。興味を持ったその時がはじめ時。学校の試験勉強という義務から解放された自由な大人だからこそ享受できる古典の楽しみ。リベラルアーツなんて当世風の言い方はあえてしません。古典という大人の贅沢のすすめです。

丸善名古屋本店

佐藤文宗

本誌表示価格はすべて税込です。

書評 紹介 関連記事

書評日誌(7・1~7・30)

- 6月号 ⑧新英語教育「超時空通信」
2024夏号 ⑨ふみくら「異邦のふるさと「アイルランド」」(著者寄稿)
7・1 ⑩アナキズム「新大学原論」
自著評(白石嘉治)
7・11 ⑪タウンニュース(横浜青葉区版)「日本のアタリマエを変える学校たち」(著者談)
7・22 ⑫日本教育新聞「困った生

- 徒」の物語」(浅田和伸)
7・27 ⑬図書新聞・2024年上半期読書アンケート「新大学原論」(森元斎)
⑭朝日新聞「NHKから国民を守る党」とは何だったのか?」(安田峰俊)
7・30 ⑮東日新聞「飯田線に魅せられて」(著者談)

9/4朝日「耕論」著者寄稿
ISBN978-4-7948-1263-6



新大学原論
岡山 茂・白石嘉治

大学とは生のスタイルであり、だれもが無償で学べる場所への約束である。軋む文明の渦中で、その夢の糸を編みなおす。四六並製 二五六頁 二四二〇円

「中日新聞」他紹介
ISBN978-4-7948-1271-1



飯田線に魅せられて
太田朋子・神川靖子

「線路は続く、どこまでも」一九五・七kmがつかないだ「出会い」と「発見」。全線開通90周年に向け、旅が再び始まる！
四六並製 二七六頁 二四二〇円

本を読む

飯田線に魅せられて

険しい山国の日本では、鉄道や道路の敷設には様々な困難があったと思います。前作も含め、鉄道を楽しむだけではなく、その裏に埋もれた歴史を思い出させてくれる本です。(浜松市 主婦 北脇 浩美 72歳)

執筆開始、その前に

実践的なアドバイスが多く、学ぶところ大です。情報過多と言うのも憚られるような社会の中で必須の執筆要綱と感じました。これからも良質な書籍の刊行を!! (田川市 大学教授 藤澤健一)

知泉源氏 5

和歌による複雑な感情表現を現代マンガ訳するすごい手腕。対訳によりすんなり読めるが、歌の奥深い世界をさらに知りたいと思わ

せてくれる。和歌を活字だけで学ぶよりも学習効果が高いと感じた。

(上尾市 日置章一 73歳)

ひとりじゃないよ

「食物連鎖」という言葉に非情・残酷なイメージを抱いていました。しかしこの絵本は、それが地球上のあらゆる生きものがつながっていることの証なのだを教えてくれます。プランクトンからクジラにいたるまでいろんな動物が、栄養、空気、日光、水、そして愛情をやりとりする姿が感動的でした。(香取郡 教員 小山茂雄 64歳)

好評刊

知泉源氏 5 (完訳漫画「源氏物語」)

杉村喜光

一四八五円

ひとりじゃないよ

エリン・ケルシー(文) / ソイアン・キム(絵) / 光機 翌訳 一七六〇円

ツカキグループ

(「三宝よし」の近江商人) 鎌谷大学経済学部編 二七五〇円

編集部から

五年ぶりに大阪を訪れて驚いた。維新の悪政に晒されてきたわりには釜ヶ崎周辺が浄化されきっていない。東京下町のほうがよほど「やられて」いるのではないか。「山谷をめぐる旅」でその直感が裏打ちされた。著者によれば、この街は「ここ数年で風景が一変し、活気を失った」。だがそれでもなおしぶとく残るなにかがあるのだ。この地で訪問看護に携わる著者渾身の記録「せひこ」一読を▼

「学校小説」の残光と残影」では、卓抜な構成により「フィクションだからこそ描けた学校・大学の風景の秘密」が詳らかに。「ノルウェイの森」から「成瀬は天下を取りに行く」まで、現代青春小説の淵源でもある名作の数々を、豊富な引用をまじえて紹介する最良の読書案内です。

営業部から

▼直近3ヶ月(2024年6月~8月)弊社のアマゾン売上ベスト15をご紹介します。

- ① たった一つを変えるだけ
- ② 感情と社会性を育む学び(SEL)
- ③ 「NHKから国民を守る党」とは何だったのか?
- ④ 「学びの責任」は誰にあるのか?
- ⑤ プロジェクト学習とは
- ⑥ 攻める自治体「東川町」
- ⑦ SELを成功に導くための五つの要素
- ⑧ 答えのない教室
- ⑨ ガイアに向き合う
- ⑩ 虚構の「近代」
- ⑪ アエネーイス
- ⑫ ひとりじゃないよ
- ⑬ 学びは、すべてSEL
- ⑭ ひとつからはじめよう
- ⑮ ギヴァー 記憶を注ぐ者

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的にご送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことに、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにてお名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。